

*机上に配布されている授業プリントNo.7～13の（ ）に、教科書と図説を参照して適当な語句を入れ、その他の問いにも答えよ。学校再開後の授業での提出を予定している。登校する予定のない人は、以下をダウンロードして使用せよ。

倫理 授業プリントNo.7 「ユダヤ教」

教科書 p.38～40 / 図説 p.37～40

1 ユダヤ教の特色

- ①世界最大の宗教である（1 ）教の母胎(母体)である。
- ②民族宗教であり、ユダヤ人のみが信仰する。ユダヤ人は（2 ）人・ヘブライ人とも呼ばれる。
- ③（3 ）思想を持ち、ユダヤ人のみが救済されると考える。さらに、民族の体験する苦難は神の与えた（4 ）と考える。
- ④唯一神である（5 ）を信仰する一神教である。（5 ）は人格神であり、万物を創造し支配する裁きの神である。
- ⑤「モーセの十戒」に代表される（6 ）の遵守を説く、（6 ）主義の性格をもつ。
- ⑥律法を守ることで神から救済されるという（7 ）を、神との間で結んでいる（7 ）宗教である。律法を守れなければ、厳しい罰を受ける。
- ⑦民族の危機に、神は（8 ）を遣わし、ユダヤ人を救うという、いわゆる（8 ）思想をもつ。

2 モーセの十戒…宗教的規定四戒と道徳的規定六戒からなる。

- ①あなたはわたしのほかに、なにものをも（9 ）としてはならない。
- ②あなたは自分のために、刻んだ（10 ）を造ってはならない。
- ③あなたは、あなたの神、主の（11 ）をみだりに唱えてはならない。
- ④（12 ）を覚えて、これを聖とせよ。

*ユダヤ教の（12 ）は（13 ）曜日で、シナゴグと呼ばれる礼拝所に集まり礼拝を行う。

3 『旧約聖書』

ユダヤ教の聖典であり、（1 ）教の聖典でもある。「旧約」とは古い（7 ）の意味であり、キリスト教徒の側からの呼び名である。ユダヤ教徒は『聖書』と呼ぶ。

「天地創造」から始まるユダヤ人の歴史書であり、モーセの十戒などの、神の定めた（6 ）が書かれている。

4 宗教は、人間にとって必要か。自分の考えを書き、そう考える理由を説明せよ。

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

倫理 授業プリントNo. 8 「ユダヤ民族の歴史」

教科書 p.38～40 / 図説 p.37～41

1 ユダヤ教成立をめぐる歴史

前 1500 年頃	遊牧民であったユダヤ人（ヘブライ人・イスラエル人）がカナン（1）に定住した。
前 1250 年頃	「出（2）」の際に、（3）であるモーセが、唯一神ヤハウェから「十戒」を授かる。
前 1000 年頃	ヘブライ王国が成立し、第2代国王のダヴィデが（4）を首都として、第3代国王のソロモンがそこに神殿を建設した。
前 922 年頃	ソロモンの死後、ヘブライ王国が北の（5）王国と南の（6）王国に分裂した。
前 722 年	（5）王国がアッシリアに滅ぼされる。
前 586 年	（6）王国が新バビロニアに滅ぼされる。住民の多くが新バビロニアの都（7）に連行され、「（7）捕囚」が始まった。（3）であるエレミヤは、これを神の（8）であると説き、やがて救世主が現れユダヤ人を救済すると伝えた。
前 537 年	新バビロニアがアケメネス朝ペルシャによって滅ぼされ、ユダヤ人は（7）からパレスチナの地に帰還した。帰還したユダヤ人は神殿を再建し、（9）教が成立した。
前 1 世紀	（1）地方が（10）帝国の支配下に入る。

2 ローマ帝国支配下（イエス登場の頃）のユダヤ人

ローマ帝国の支配下にあったユダヤ人は、ローマ皇帝への（11）に加え、以前からの政府にあたる最高法院への（11）も義務とされた。また、ローマ軍が駐留し、司法権は（11）が握っていて、彼が裁判を行った。

さらに、（13）派の律法学者たちが律法の遵守を説き、人々を苦しめた。このような困難な時期に、預言者たちは（14）の到来と「（15）」の実現を伝えた。

3 ユダヤ人が第2次世界大戦後に自分たちの国家（イスラエル）を、パレスチナを占領し、建国したことについて、どう考えるか。下の3つのどれかに○をつけ、そのように考える理由を説明せよ。

イスラエルを支持する イスラエルを非難する どちらとも言えない …いずれかに○
 そう考える理由

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

倫理 授業プリントNo.9 「イエスの生涯とその教え」

教科書 p.41～43 / 図説 p.37、41～43

1 イエスの生涯

前4年頃	0歳	パレスチナの(1)に生まれる。父親は大工であったヨセフ、母親は(2)。一家を支えながら、ナザレで成長した。
28年頃	30歳	ヨルダン川のほとりで(3)から洗礼を受ける。その後宗教活動を開始し、「時は満ちた、(4)は近づいた。悔い改めて(5)を信ぜよ」と説いた。
30年頃	34歳	ローマに対する反逆者として、(6)に磔 ^{はりつけ} にされて処刑された。

*イエスの生涯は、『(7)』の4つの福音書に記されている。4つの福音書とは、「(8)」「(9)」「(10)」「ヨハネ」の4つの書を指し、初めの3つは共感福音書と呼ばれる。

2 律法の(11)化

パリサイ派による律法の形式的な遵守を批判し、(11)における律法の遵守を説く。そのことにより、自らの(12)を自覚させ、神への依存を求めた。

最も大切な律法として、「(13)への愛」と「(14)愛」をあげている。

3 「裁きの神」から「愛の神」「(15)の神」へ

ユダヤ教の神＝「裁きの神」…律法を守れない人間に厳しい罰をくだす存在。

イエスの説く神＝「愛の神」「(15)の神」…弱く罪深い存在である人間を赦す存在。

*イエスの説く神の愛＝「(16)」…無価値なものへの愛・無差別平等の愛

4 「神の国」

ユダヤ教徒の考える「神の国」＝(17)の独立回復や繁栄を意味する。

イエスの考える「神の国」＝人間の(18)の中に存在する、と説いた。

5 もし神が存在するとしたら、その神はどのような存在であると思うか。(ユダヤ教の神とイエスの説く神のどちらに近い。)自分の考えを書き、そう考える理由を説明せよ。

()組()番 氏名()

倫理 授業プリントNo. 10 「キリスト教の誕生とパウロ」

教科書 p.43～44 / 図説 p.37、41、43～44

1 イエスの復活とキリスト教の誕生

刑死から（1 ）日目にイエスが復活した、という信仰が生まれる。その後、初代のローマ教皇とされる（2 ）を中心に、イエスを救世主（3 ）であると信じる人々の集団が成立した。（＝キリスト教の誕生）

*（3 ）には、ギリシャ語で救世主を意味する語を入れよ。

*イエス＝キリストの復活を祝うイースター（復活祭）は、春分の日後の、最初の満月の次の（4 ）曜日と決められている。

2 パウロの生涯

紀元前後	小アジアの（5 ）で生まれる。両親は（6 ）の市民権を持つ（7 ）派のユダヤ人で、キリスト教徒になる前の名前は（8 ）であった。
33年頃	熱心なユダヤ教徒で、キリスト教徒を迫害していたが、（9 ）の声を聞くという体験をし、キリスト教に（10 ）した。
47～48年 49～52年 52～56年	第1回伝道旅行 第2回伝道旅行 第3回伝道旅行 } 小アジアや（11 ）をまわって、各地に（12 ）を設立した。
64年頃	（6 ）において殉教したとされている。

3 パウロの教え

イエスの死を、人間が生まれながらに持つ自分ではあがなうことのできない罪、すなわち（13 ）のあがないであるとする（14 ）思想を説いた。

（15 ）を守ることによってではなく、神の愛への信仰により義（正しい）とされると説く（16 ）説を主張した。

ユダヤ人以外の人々、すなわち（17 ）への伝道を積極的に行い、キリスト教が（18 ）宗教へと発展する基礎をつくった。

4 パウロはなぜ、ユダヤ教からキリスト教に回心したと思うか。その理由を自分で考え下書きを書きなさい。

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

倫理 授業プリントNo. 11 「キリスト教の発展」

教科書 p.45～47 / 図説 p.37、45～46

1 キリスト教の発展

313年	コンスタンティヌス帝が、キリスト教をローマ帝国内で(1)した。
325年	アタナシウス派(カトリック)の主張する(2) 一体説が、ニケーア公会議で正統とされた。「カトリック」とは(3) 的という意味である。
392年	テオドシウス帝により、キリスト教がローマ帝国の(4)となる。
395年	ローマ帝国が東西に分裂する。

*この頃、(5) と呼ばれる人たちにより、教義の確立がすすんだ。アウグスティヌスが中世キリスト教会最大の(5) とされている。

2 アウグスティヌス

若い頃は(6) 教を信仰していたが、32歳の時に回心した。

原罪を背負う存在である人間は、神の恵み、すなわち(7) によってのみ救済されるとし、教会の権威を高めた。

人間の歴史を「(8) 」と「人間の国」の戦いであるとし、最後はキリストの再臨(最後の審判)により「(8) 」が勝利すると説いた。

3 トマス＝アキナス

中世西ヨーロッパにおいて、教会の教えを古代ギリシャ哲学(主にアリストテレス哲学)を利用して合理的に説明しようとした(9) 哲学の大成者である。

普通は相反するとされる(10) と理性の調和を主張した。

4 迫害を受け続けたにもかかわらず、ローマ帝国内でキリスト教徒が増え続けたのは、なぜか。自らの考えを説明せよ。

() 組 () 番 氏名 ()

倫理 授業プリントNo. 12 「イスラームの成立」

教科書 p.48～49 / 図説 p.47～52

1 イスラームとは

「イスラーム」という語は、神への（1）を意味する。
イスラームはユダヤ教やキリスト教と同じ（2）教であり、キリスト教や仏教と同じ（3）宗教である。現在の信者数は、約（4）人と言われている。

2 ムハンマドの生涯

570年頃	0歳	アラビア半島の商業都市（5）で出生。父親が死去。
576年頃	6歳	母親が死去。（6）に引き取られる。
578年頃	8歳	（6）が死去。叔父に引き取られる。
595年頃	25歳	15歳年上の未亡人（7）と結婚。
610年頃	40歳	（8）の「起きて警告せよ」という声に従い、その教えを人々に説いた。（=イスラームの始まり）
622年	52歳	（5）から（9）に移住し、この都市に信仰共同体である（10）を成立させる。この出来事は（11）と呼ばれ、この年が（12）の元年である。
630年	60歳	（5）を征服し、（13）の偶像を破壊した。その後、（14）を展開し、アラビア半島のほぼ全域を支配下においた。
632年	62歳	（9）で死去。

3 アッラー

唯一絶対の神であり、（15）を創造し、人間が守るべき規範である（16）を定めた。（17）の日に、正しい者を天国へと導き、そうではない者を地獄に落とす。

（18）崇拝は厳しく禁止されている。

4 キリスト教徒とムスリム（イスラーム教徒）は同じ神を信じているにもかかわらず、なぜ対立することが多いのか。自らの考えを説明せよ。

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

倫理 授業プリントNo. 13 「六信五行とイスラームの分裂」

教科書 p.49～50 / 図説 p.47～51

1 六信…ムスリムの信じるべきもの（信仰の柱）

神（アッラー）	この世界の創造主であり、全知全能の存在である。ユダヤ教や（1）教の神と、同じ神でもある。
天使	神に仕え、神の意志を伝える使者である。ムハンマドに神の啓示を伝えた（2）が最上位の天使とされる。
聖典	最も重要な聖典は『（3）』であり、この語は「（4）」を意味している。（5）語で書かれており、原則的に翻訳は禁止されている。
預言者	モーセやイエスも預言者とされるが、（6）が最後の預言者とみなされている。
（7）	最後の審判の日、人間は天国と地獄に振り分けられる。
（8）	この世の一切のことは、アッラーの意志によって決まる。

2 五行…ムスリムが実践すべきこと

信仰告白	「アッラーの他に神はなし、ムハンマドは神の使徒なり」と唱える。
礼拝	1日（9）回、（10）のカーバ神殿の方向に向かって行う。（11）曜の正午は、モスクでの集団礼拝を行う。
断食	イスラーム暦の9月、すなわち（12）の1ヶ月間、（13）から（14）まで飲食をさける。
喜捨	（15）を救済するため、財産に応じて課せられた税を納める。
巡礼	一生のうち一度、（10）に巡礼を行う。イスラーム暦の（16）月が巡礼の月とされている。

3 イスラームの分裂…ムハンマドの死後、後継者（カリフ）についての考え方の違いなどから分裂した。

スンニー派（スンナ派）	スンニーとはムハンマドの（11）に従う人々のこと。歴代のカリフを正統とし、ムスリム全体の約（12）%を占める。
シーア派	シーアとは（13）のことであり、第4代のカリフである（14）とその子孫のみを指導者（イマーム）と認める。ムスリム全体の約15%を占めるのみの少数派であるが、イランやイラクでは多数派である。

4 難しい義務があるにもかかわらず、イスラームが世界宗教へと発展したのはなぜか。自らの考えを説明せよ。

（ ）組（ ）番 氏名（ ）